

ふたかみ NEWS プチトマト

古着市、開催しました！



元気いっぱい
販売中！



どの服買おうかな～？



たくさんのご協力
ありがとうございました！

スーパーポ
ールすくいもし
たよ～♪



11月12日、快晴の空の下、古着市を開催することができました。当日は開始前からたくさんの行列！掘り出し物を手に喜ぶ顔がたくさん見ることができました。ご来場いただいた皆様、ご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。(経澤)

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者：石本悦二 編集責任者：関口奈緒美



秋の運動会！！

「運動の秋」ということで、今年も各事業所で分かれ運動会を行いました。毎年、なかまのみなさんも運動会を楽しみにしている人も多く、玉入れやリレーなどたくさんの競技を行いました。また、普段の運動不足を解消しつつ、職員も含めみんなで楽しむことができました！！(阪本)

このまちで暮らしたい
「障害者生活耕房」(グループホーム)
—建設募金のお願い—

2022年6月openしました！！
新しい暮らしを支える拠点として…
建設募金へのご協力よろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(ゼロキユウキユウ店) 【口座番号】0225417

カフェハピバー

12月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 29日、30日、31日

貸し切り 5日の午前(10時～12時)
10日の午後(13時～17時)

★Instagram★
⇒ [cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar)

お問い合わせ先
072-958-3232

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

【2022年10月】

・森義彦
・小田百合子

.....以上2口
.....以上1口

■ボランティア.....垣内秀夫様

■アルミ缶回収(10月分).....984kg

ありがとうございました

◆2022年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました

皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費：1口3,000円 団体会費：1口10,000円】 郵便振替口座：00940-5-325894

10月15日「〇」はびきのにて、法人職員会議がありました。社会福祉法人大阪聴覚障害者福祉会あすくの里の吉見さんを招いて『命はみな平等』命の意味を考えるⅡ今後の障害福祉についてⅡというテーマにて研修を行いました。自己紹介より吉見さんが京都での大学時代より聴覚障害の方のご家族の通訳ボランティアとしての関り、来阪されてからの「なかまの里」の立ち上げの話をされました。その話からでも障害のある人達、一人一人の人格を認められている吉見さんの思いが伝わってきました。40年間、障害のある人達と関ってきた原動力を『命はみな平等』という信念を語られました。

そんな吉見さんだからこそ、旧優生保護法について、聴覚障害者の立場から話される「聞こえない被害者の実態」は聞いていても苦しいものでした。全日本ろうあ連盟の実施した「聴覚障害者による強制不妊手術や中絶のおける実態調査」で明らかになった被害を受けた方々。提訴された聞こえない

被害者の一人が語られた二重の差別。聴覚障害がある事で、ろうあ学校、職場での差別や偏見に基づく嫌がらせや暴力。家族さえ罵られてきた。そんな生活をずっと耐えてきた中で、さらに子どもを産むことが出来なかったという二重の差別を受けたことの悔しさを訴えているとの事です。

そんな方々の訴えが、大阪高裁、東京高裁の逆転勝訴に繋がったことは非常にうれしい事です。しかし、それでもなお除斥期間を理由に損害賠償請求権の提供を制限しています。（仙台地方裁判所では除斥期間の規定による損害賠償請求権の消滅を認めている）その事は、障害の差別、子どもを産むことを奪われた事に加えて、それ以上の差別を認めるものではないかと感じます。

そのような旧優生保護法に代表されるような『優生思想』は、そのほかの所でも広がっています。津久井やまゆり園障害者殺傷事件、ALS患者への委託殺人事件、生野聴覚支援学校生との交通事故をめぐる『逸失利益』と裁判、出生前検診などを挙げられ、最後に災害や新型コロナウイルス

禍の中での命の選別。これらの事柄を丁寧に解説された後に、今、私たちはどうあるべきかを語られました。

旧優生保護法のもと行われてきた強制不妊手術の被害を受けた方々が裁判を行っています。憲法違反との判決はでもなかなか国は認めようとせず、控訴を続けています。

「内なる優生思想」。

結婚をするには手術をしないとけないと言われた、子どもがでないことでのつらい人生を送った、何も説明を受けず手術をされた、など原告の悲痛な声を直接聞き、知っていたつもりでも知らなかった、これは一時のことではなく、その人の人生を通して、今なお被害を受け続けているんだと感じました。

無念の思いで逝きたくない。原告の多くは高齢です。

シンポジウムのなかで、たくさんの方に知ってもらおう、興味を持ってもらうことで早期の解決につながっていくのでは、と話されていました。

身近な人で構いません、こんなこと知ってる？と伝えてみてください。

みんなで少しでも広げることで早期解決へむけて動いていきましょう！（西岡）

まいち班 秋の遠足

10月27日に遠足に行きました。

念願の全員での遠足を実施することが出来ました。午前は天保山マーケットプレイスに行き、フードコートで食事を行いました。外を見ると、海！綺麗な景色を楽しみました。午後からはサンタマリア号に乗船しました。大阪付近をクルージング、ユニバーサルスタジオジャパンや、天門など様々な景色を見ることが出来ました。綺麗な景色にみんな目を光らせていました。



下船後はお土産売り場でお土産を購入しました。大阪のお土産を買って不思議な気持ちになりました。大切な家族さんや自分へのプレゼントを選ぶことが出来ました。今年も楽しい遠足を行うことが出来ました！来年も全員揃って遠足に行きたいと思っています。（波多江ひ）

秋の大収穫！

さつまいも掘りに行ってきました！

秋晴れの11月7日、リサイクル班では、さつまいも掘りを行いました。ゆったり班が恒例行事のさつまいも掘りに行った際に、「まだまだたくさん残っているからどうぞ！」と声をかけて頂いたこともあり、リサイクル班全員揃って農林水産センターまで行ってきました。

畑の畝には、たくさんさつまいもの茎が見えていました。着いたとたんに力いっぱい茎を引っ張り、どさどささつまいもを収穫している仲間がいる一方、土をあまり触り慣れていないことから指先で優しく土の表面をチョンチョンと触るだけで、なかなか芋までたどり着かない仲間もいるなど様々でした。

隣の畝には、今後収穫予定でまだ芽を出したばかりの玉ねぎの苗が植えてあり「踏んだらダメだよー！」という職員の心配をよそに仲間たちはさつまいも掘りに夢中でした。すごく大きく立派な芋もあれば、細長く握りしめると折れてしまいうような芋もあり、形も楽しむことが出来ました。「焼きいも

食べたいな」という声も上がっていました。久しぶりに土に触れて、活き活きとした笑顔が見られ、秋の収穫を体感することが出来ました。（本間）



ハッピーボール・ゆったり班もさつまいも掘り！



ハロウィンパーティー

10月31日（月）はハロウィン。はびきの園では、午後から2種類のゲームをしました。

ダンボールに幾つかの穴をくり抜き手作りボールを穴に投げ入れるストラックアウト。クリアすると次のステージへ！

お化けやかぼちゃなどの絵合わせが完成するとお菓子との交換カードを受け取りました。すると不気味な黒い板からとてもリアルなドラキュラが登場！叫び声が聞こえ、その横からハワイアンドレスを身にまとった仮面をつけた決して笑えない女性が待ち受け、カードと引き掛けでお菓子をゲット！

喜び大笑いした仲間が大半でしたが、中には泣いてしまう仲間もありました。事前にマントを作り、お化けやかぼちゃの絵を描き、自治会役員でお菓子を用意した準備期間も含め、コロナ禍が長く引く中ですが、久しぶりに楽しく過ごせた時間となりました。（乾）

TRICK OR TREAT !!

